



・・・総務委員会だより・・・

広島県バウンドテニス協会 NO.271 2025年9月22日(月)

夜には虫の音が響き、秋の訪れを感じる頃となりました。ほっと一息ですね。
2025年の残暑は特に長引くとされています。短い秋になりそうですよ。
読書の秋📖、スポーツの秋🏆、実りの秋🍇etc.・・・いろいろな秋を楽しみましょう！



■■第21回中国ブロックバウンドテニス選手権大会■■

日時：2025年11月30日(日) 9:30～17:00 (終了時間は参加人数によって変更する場合もある)

会場：廿日市市 まるくる大野

種目：男子・女子 ダブルスとシングルス (ともにフリー、ミドル、シニアの3部門)

※試合は全種目トーナメント方式で行う。(参加人数によって変更する場合もある)

参加資格：中国ブロック各県協会に登録済みの選手

※審判資格がなくてもエントリーできますが、代表として全日本選手権大会に出場するには、
審判資格は必須です。(2026年2月22日に公認資格認定試験の開催を予定しています)

参加費：ダブルス 4,000円/1組、シングルス 2,000円/1名

※弁当は各自で準備してください。

参加申込締め切り 10月15日(水) 必着

****各種目で中国ブロックチャンピオンを決定いたします****

各種目優勝者は2026年7月10日(金)、11日(土)に開催される「第44回全日本バウンドテニス選手権大会」にブロック代表として推薦いたします。

■■リフレッシュ講習会■■ 指導委員会企画運営 (講師：磨井 祥夫先生、三上 貴子先生)

9月7日(日) まるくる大野で開催されたリフレッシュ講習会は、日本バウンドテニス協会指導者講習会内容の伝達講習会として実施されました。

本部協会2025年役員体制の報告に始まり、やる気を出させる言葉「ベップトーク」、「コンプライアンス研修」、「大会会場における不慮の事故などの対応に関するガイドライン」、「JBTAIF中期アクションプラン」などについて説明がありました。特に中期アクションプランにおけるジュニア選手権大会企画、シニア部門の充実、指導者養成、普及事業などを実施するために、各県代表3名(若い男女含む)を選出して進めていくことになるそうです。

実技では、「ウイニングショット」の練習を行いました。“脇を締めて”“身体の前で打つ”“オープンスタンス”“フォロースルーで後ろを向く”などの説明がありましたが、あまり理解できず、段階的に進められたものの、いつものフォームではないので、なかなか難しかったですよ。

そして、バウンドテニスでもセルフジャッジを導入するにあたって「セルフジャッジの審判法」についての説明があり、セルフジャッジのルールに則って試合を実施いたしました。セルフジャッジを適切に実施するためには、『フェアプレイの精神』が求められ、次の5原則の重要性を理解し、実行することが必要です。みなさんもクラブ練習の試合時にフェアプレイ精神でのセルフジャッジを体験してみてくださいね！

【セルフジャッジの5原則】 ー実施してメリット、デメリットなど気づきがあれば教えてくださいー

- (1) 判定が難しいときは相手に有利に (微妙・怪しい・なんとなく・分からない)
- (2) 「アウト」、「フォールト」は、ボールとラインの間にはっきりと空間が見えたとき
- (3) サーバーは、サービスを打つ前に、相手に聞こえる声でスコアをアナウンスする
- (4) 判定とコールは、相手に見えるハンドシグナルと、相手に聞こえる声で、速やかに
- (5) コート外の人、セルフジャッジに口出ししない